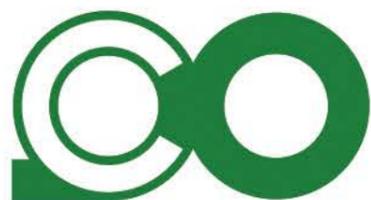


sample

アクションレポート

～ CO₂ 削減証書～

〇〇〇〇株式会社 様



低炭素合材®
MAEDA ROAD

低炭素合材の使用により CO₂ を削減したことを証明します。

工事件名 : 〇〇〇〇工事

出荷量 : (加熱合材)〇〇t, (再生合材)〇〇t, (合計)〇〇t

CO₂ 削減量 : 〇〇〇kg-CO₂
(約〇〇本のスギの木が一年間に吸収する二酸化炭素量*に相当)

出荷期間 : 2023年〇月〇日～2023年〇月〇日

出荷工場 : 前田道路株式会社 〇〇合材工場

備考 : *50年生のスギの人工林1本当たりの年間平均二酸化炭素
吸収量を約14kgとして算出しております。
出典: 関東森林管理局 HP より

低炭素合材
MAEDA ROAD は前田道路株式会社の登録商標です。



前田道路株式会社



M23-000



環境にやさしい道を、
皆様と共に。



低炭素合材

温室効果ガスの排出削減に寄与するアスファルト合材



前田道路株式会社

前田道路株式会社は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



前田道路株式会社

低炭素合材

温室効果ガスの排出削減に寄与するアスファルト合材

低炭素合材ってなに？

低炭素合材とは、**低炭素技術によって製造するアスファルト合材**の総称です。
中温化合材(ecole)・実質CO₂フリー電力の活用など、CO₂排出量を低減した手法で合材を製造します。

全品種に対応

再生密粒をはじめとして、透水性、改質、カラーなど、工場で製造する全ての品種を低炭素合材として販売できます。

通常施工でOK

通常のアスファルト合材と同じ方法で運搬・施工できます。もちろん、見た目の仕上りも耐久性も通常合材と変わりません。

お客様の脱炭素経営のサポート

1

CO₂削減のPR実施

CO₂削減量を可視化し、証書としてお渡しします。証書の活用で、環境貢献活動を積極的にPRできます。また、工事成績評価の加点にもつながります。

2

優位性の構築

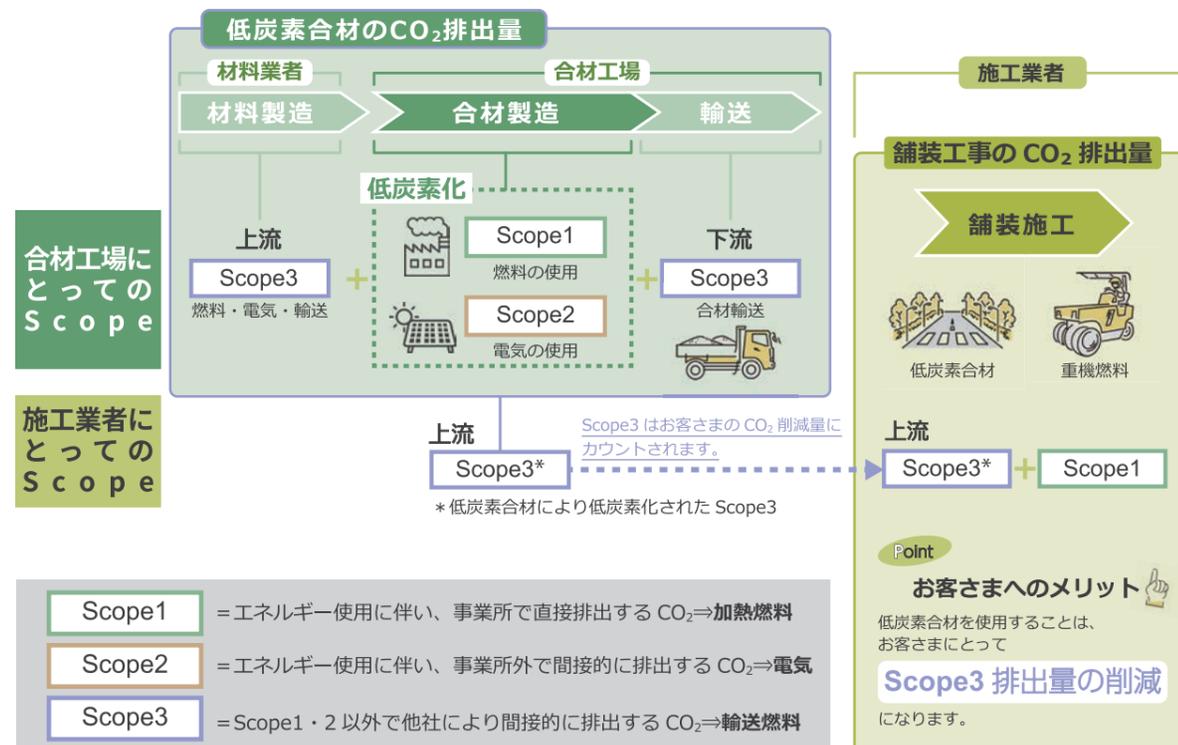
他社より早く取り組むことで『脱炭素経営が進んでいる企業』や『先進的な企業』という良いイメージが獲得できます。

3

人材獲得力の向上

自社の社会貢献は社員のモチベーションにつながります。また、サステナブルな企業へ従事したい社員数は年々増加しています。

アスファルト舗装のCO₂排出量の考え方(スコープ1・2・3)



前田道路独自の低炭素化手法で

お客様のCO₂排出量

Scope3削減

ecole(エコール)技術等による化石燃料消費量の削減

前田道路が業界に先駆けて導入したecole技術による中温化合材やバイオマス燃料・都市ガスなど低炭素な燃料を使用しています。

加熱
Scope1

電力
Scope2

重機
Scope1

工場稼働に必要な動力をCO₂フリー電力化

工場の稼働電力を再生可能エネルギー由来の電力等に置き換えることで、電力由来のCO₂排出を実質ゼロに。

プラント内で重機燃料にB5燃料を使用

材料投入などに重機を稼働させる際には、軽油に5%以下のバイオディーゼル燃料(BDF)を混合したB5燃料を使用しています。

7つのメソッド

- 1 ecole 技術による出荷温度低減
- 2 その他中温化手法による出荷温度低減
- 3 RE100 電力契約による全電力 CO₂フリー化
- 4 通常電力の実質 CO₂フリー化
- 5 バイオマス燃料の混焼による燃料の低 CO₂化
- 6 低 CO₂排出な都市ガスの活用
- 7 その他低炭素化技術 (CN ガス・蓄熱式脱臭炉)

低炭素合材は通常価格据え置き

アクションレポートで削減量が見える化



スギの本 約 120 本分!

(参考例: 施工面積 1,000m² 施工厚さ 5cm 削減量 1,700kg-CO₂)
CO₂排出削減量は、工場や品種毎に異なります。

ご用命は前田道路グループへ

全国 11 支店
全工場
どこでも対応

全営業所・全工場 低炭素化

紹介 MOVIE▶
(YouTube へのリンク)

